

瀬戸内海の里海づくりを学ぶ観察会（写真記録）

1. 6月12日（火）



「アマモ場再生の聖地・日生」の看板



港町らしいイカリのモニュメント



港

【昼食会場「ボロ小屋」】



食堂「ボロ小屋」はボロではなく、



食事もおいしかった。



庭ではバーベキューも出来る。

【加子浦歴史文化館】



石段を上がり、門をくぐると豪壮な邸宅が日生の歴史文化を紹介する展示館



日生型打瀬船の精巧な模型



文芸館



庭園



作業開始前に漁師さんの注意を聞く



出港



カキ筏にからむ流れ藻を取り除く



実のついたアマモは袋に入れ筏に固定



海中のアマモ、(巾広の海藻はアオサ?)



実のついたアマモ



実のないアマモは陸上に運び肥料に。



養殖筏でさかなにエサやり

【ノリナハーレで日生諸島】



上段左：ノリナハーレ
同中：日生諸島
同右：カキ筏
下段左：鴻島、
同中大多府島の堤防
同右：頭島遠望

【頭島・よしのやに宿泊】



こんな石垣のある道を歩くとよしのやの標識が・・・



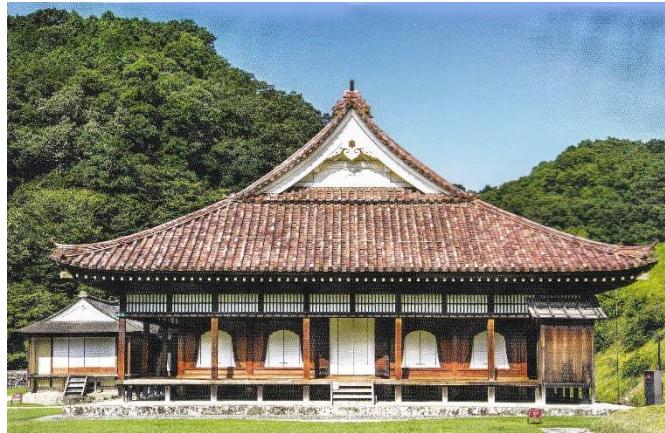
田中先生に乾杯の音頭をとっていただき・・・

2. 6月13日（水）

【特別史跡 旧閑谷学校】



岡山県青少年教育センター閑谷学校



国宝 講堂・小斎



講堂の内部



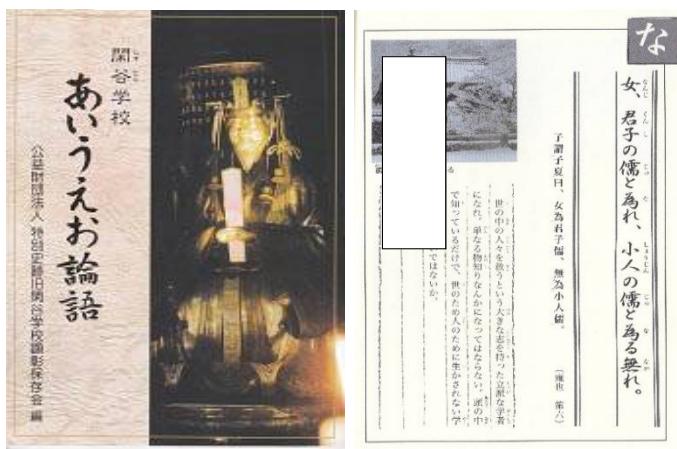
聖堂前の楷の木



重文石壙



校門のしゃちほこ

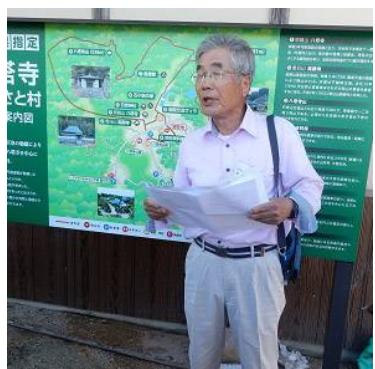


朗読したあいうえお論語

【鹿久居島・米子湾でカヤック体験】



【八塔寺ふるさと村・里山体感】



八塔寺ふるさと村運営協議会会長 松山さんにふるさと村の概況を聞く。写真中・右は民俗資料館と展示物（部分）



八塔寺山荘・囲炉裏のある部屋

国際交流ヴィラ遠望

望ヶ丘ロッジ

【八塔寺ふるさと館での夕食・交流会】



八塔寺ふるさと館



備前観光協会船橋さんの司会で交流会が始まる。



若者に期待される村の将来

3. 6月14日（木）

【備前市埋蔵文化財管理センター】



学芸員の展示説明を聞く



陶芸家 平川忠氏に原点回帰の備前焼への想いを語る

【備前カレー】

昼食の“備前カレー”とは備前焼の器に盛った海鮮カレーのこと。



【松岡窯で備前焼を体験】



松岡誠悟氏に土ひねりの手ほどきを受ける



【備前焼の里 “伊部” の町散策】



備前焼の土管を再利用した壁



子ども達の絵がタイルになり舗道に



備前焼作家によるタイルも舗道に

備前北大窯跡



備前市指定史跡

備前北大窯跡

昭和四十六年十月六日指定

北大窯跡には四基の窯跡があり、そのうち一基（江戸時代の窯跡・全長四十五m、幅四・七m）は天津神社からの道で両断されている。他の三基は忌部神社北西雑木林斜面に、ほぼ平行して築かれている。そのうちもっとも北西の窯跡（長さ四十七m、幅五・四m）は、江戸時代後期に書かれた「古伊部神伝録」には、応永年間（一三九四－一四二八）に大窯が存在したとの記載があるが、大窯跡からの採集資料には室町時代末期より逆のほるものは見つかっていない。最南のものは桃山時代の窯跡とされている。

☆多數陶片が散乱していますが、見学するだけにどめ、持ち帰ったり振り出さないようにしてください。

平成五年九月

備前市教育委員会



北大窯跡出土壺鉢破片



忌部神社に隣接して備前北大窯跡があり、陶器片が無数に散らばっているが持ち帰ることは禁止。

このあたり窯跡群

工房見学



粘土の塊をハンマーで砕き、



水槽で粒子の大きさを分ける



赤松の薪（細・太2種あり）



窯でどのように焼成するか・・ できた作品の見方などを解説していただいた。

以上

瀬戸内海の里海づくりを学ぶ観察会（集合写真）





H30. 6. 13 八塔寺山荘にて



H30. 6. 14 八塔寺ふるさと館にて



H30. 6. 14 伊部駅で